横浜市立 嶮山小学校　　令和 元 年度版　中期学校経営方針　（ 令和 元 ～ 3 年度 ）

学校教育目標	「夢をえがこう　自分をえがこう　嶮山あったかハーモニー」 自ら学び、しっかり考える子を育てます。【知】 思いやりのある子を育てます。【徳】 たくましい子を育てます。【体】 まちとともに生きる子を育てます。【公】 夢をもち、チャレンジする子を育てます。【開】

学校概要					
創立　40　周年	学校長　　山口　昭代	副校長　　内田　宏平	2　学期制	一般学級：11　　個別支援学級：2	
児童生徒数：　312　人	主な関係校：すすき野中				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力
意欲をもって学び続ける力 健康な心と体をつくろうとする力 よりよい自分を築こうとする力 多様性を認め協働する力 かかわりを求め喜びを共有する力

中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
すすき野中 あざみ野中 荏子田小 黒須田小 あざみ野第一小 あざみ野第二小	〇自分らしく、共に生き、社会に貢献する子 小中学校間で学習指導や生活指導の円滑な接続を重視するとともに、児童・生徒間の交流や小中教職員の交流を積極的に図ることによって、子どもたちに必要な資質・能力を育てる。 特に、すすき野中、すすき野小とは三校合同の学校運営協議会等を通じて三校での連携を深め、「9年間で育てる子ども像」に沿った育成を進める。

中期取組目標	
	〇創立40周年記念事業に関わる活動を通して、児童が「夢をえがき」「自分をえがく」ことのよさを実感できるようにし、この「まち」で育つ喜びを味わえる学校を目指す。 〇「歯と口の健康づくり」「食育」を推進し、自分の健康を自分自身でつくり出し、保持しようとする力をもった子を育てる。また、自分自身の大切さに気付くことを入口に、自他の存在の尊さを知る「いのちの教育」を実現する。 〇すすき野・嶮山ネット、7校小中一貫教育推進ブロック、地域との連携を通し、保護者、地域、関係の方々から信頼され、「まち」に愛着をもつ子を育てる。 〇教育課程を見直すことで、カリキュラムマネジメントの意識を高め、授業力・指導力の向上を目指す。

重点取組分野	担当	具体的取組
生きてはたらく知	学校運営部	①「学習のスタンダード」を明確にし、板書計画・ノート指導等について共通の約束で授業を創れるようにする。②重点研究では、嶮山小の子どもたちのよさと課題を職員全体で共有し、主体的に学びに向かう力の育みを目指す。英語活動やプログラミング教育についても実践を重ねる。
豊かな心	育成研修部	①日常的に、あらゆる場面を通じて人権教育を進め、思いやりをもち友達に温かく接することのできる子どもたちを育てる。また、きょうだい学年やたてわり活動での意図的・計画的な交流を通して、相手を理解し、認めることのできる心情を高める。
健やかな体	健康安全部	①体力向上を目指して「縄跳び活動」を充実させる。集団で行う長縄と個人で行う短縄に年間を通して取り組み、運動の楽しさを学校全体で味わえるようにする。②「歯と口の健康づくり」を通して「自分づくり・いのちの教育」を積み重ねていることを地域や家庭に積極的に情報発信する。
教育課程	学校運営部	①教育課程の系統性を捉え、児童の実態にあった学年暦に更新することで、教員の授業力の向上にもつなげていく。②教職員のキャリアステージに合わせた研修の充実とメンター研修（嶮山塾）や教育実習生のための示範授業の実施などに組織的に対応することで、指導力の向上を目指す。
児童生徒指導	児童指導委員会	①「嶮山スタンダード」に基づいた一貫性のある指導を行う。また、家庭との連携を充実させて望ましい生活習慣の確立を目指す。②「いじめの未然防止」を徹底し、児童支援専任への初期段階での報告や学年ブロックでの共有を通して、組織として子どもの安心と安全を守っていく。
地域連携	学校運営部	①「このまち」で育つ子どもを、様々な交流を通して地域の方々に見守り、支えていただけるように公開授業や学校行事、また地域行事への参加や交流を活発に行えるよう地域連携に努める。②「フレンドくんの会」の協力を得て本物体験を味わうことで、子どもの学びの質の向上を目指す。
学校運営協議会	学校運営部	①すすき野中、すすき野小と合同で行う「学校運営協議会（すすき野嶮山ネット）」では、地域から見た学校を取り巻く今日的課題を明確にしたり、学校教育活動への意見を伺ったりする中で、社会とつながる開かれた学校づくりを目指す。②子どもの育ちを共に喜べる地域風土を醸成する。
創立40周年記念事業	創立40周年記念事業実行委員会	①年間を通して記念事業を継続的に企画実践することで、子どもたちの心に学校愛、地域愛を育ませる。②全校一緒に喜び合える機会を重ねることで、一生忘れない思い出をつくるとともに、仲間の大切さを実感できるようにする。並行して、2020東京オリ・パラ教育も推進する。
いじめへの対応	児童指導委員会	①日々の教育活動を「だれもが」「安心して」「豊かに」の視点から教職員が常に自己点検していく組織づくりを推進する。②いじめの定義や子どもの実態について、様々な場で情報提供することで、多くの眼差しで子どもたちを包みこみ、健全育成していく学校づくりを進める。
人材育成・組織運営（働き方改革）	育成研修部	①校内組織がチームとして動いていることが実感できるように、ミドルリーダーが意図的に若手を取り込む意識をもつ。②メンターチーム（嶮山塾）が、教職員全体に向けて働きかけられるように、主体的な企画実践を積み重ねていく。③情報共有ソフトウェアを活用し、各々が確実に情報を掴める環境をつくる。